だれのものでもないチェレ（1976）

ARVACSKA

メディア	映画
ジャンル	ドラマ
製作国	ハンガリー
色彩	Color
時間	90分
初公開日	1979/03/17
公開情報	独立映画センター
リバイバル	2010/01/30［パイオニア映画シネマデスク］ 2010/01/30［パイオニア映画シネマデスク］

【解説】

主人公の七歳の少女が少年のように思い出されてならない。それだけ、やせ細り、少女の丸みを削ぎ落とした彼女の存在感が印象的だ。革命以前の３０年代のハンガリー農村。孤児となったチェレは貧農の家に引き取られ、裸でこき使われる。ある日、虐待に絶えきれず逃げ出した先の農家に拾われ、生涯で初めて心の交流を持てる優しい老人と出会うが……。その題名に表れるような、毅然とした生き方を自らか無意識にか選択していた少女に、哀れみ以上に共感を覚える。東欧映画らしい冷たい映像美（ラスト、火事の黄金色の炎を熱そうと感じないのだ）も特筆すべきだろう。

【クレジット】

監督	ラースロー・ラノーディ
原作	ジグモンド・モーリツ
脚本	ユディト・エレク
	ラースロー・ラノーディ
撮影	シャーンドル・シャーラ　Sandor Sara
音楽	ルドルフ・マロシュ
出演	ジュジャ・ツィノコッツィ
	シャンドル・ホルヴァート
	アンナ・ナジ
	マリアン・モール

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.